

地域ぐるみで子供を守るボランティア活動を推進します

～「子ども 110 番の保険代理店」の全国展開～

一般社団法人日本損害保険代理業協会（会長 金子智明）と全国 47 都道府県損害保険代理業協会は、助けを求めてきた子供を保護し、学校・警察等へ連絡する地域ぐるみで子供を守るボランティア活動を展開します。

これまでも、日本代協・都道府県代協では、「ハーザードマップ」の普及に向けた取り組みや損保協会の「ぼうさい探検隊」マップコンクールにおけるマップ作成指導など、本業を活かした防災・減災の教育に取り組んできました。

一方で、毎年 1,000 名近くの小学生が行方不明になるなど*、国を挙げて子供の防犯・防災教育に取り組んでいるものの、子供たちが犯罪に巻き込まれるケースが後を絶ちません（*出典：警察庁「行方不明者の現状」）。

このような状況を踏まえ、これまで代協会員が自主的に「子ども 110 番の家」の活動を実施していましたが、日本代協と 47 都道府県代協が組織的に取り組み、代協会員が警察・地域住民・学校関係者などと相互に連携し、地域のリスクアドバイザーとして、「子供たちが安全に暮らせる環境づくり」を支えていきたいと考えています。

自治体等が実施している「子ども 110 番の家」の活動は、地域によってその名称が異なる場合があります。全国でこの取り組みを展開するにあたり、「子ども 110 番の家」に登録した会員を、各都道府県代協が追認し、日本代協の新キャラクター『森の賢者“ふうた”』をデザインしたステッカー「子ども 110 番の保険代理店」を代協会員の事務所等に掲示していきます。

また、「子ども 110 番の家」の登録方法や活動内容を記載したマニュアルを作成し、会員の「子どもを 110 番の家」の登録・活動をサポートしてまいります。

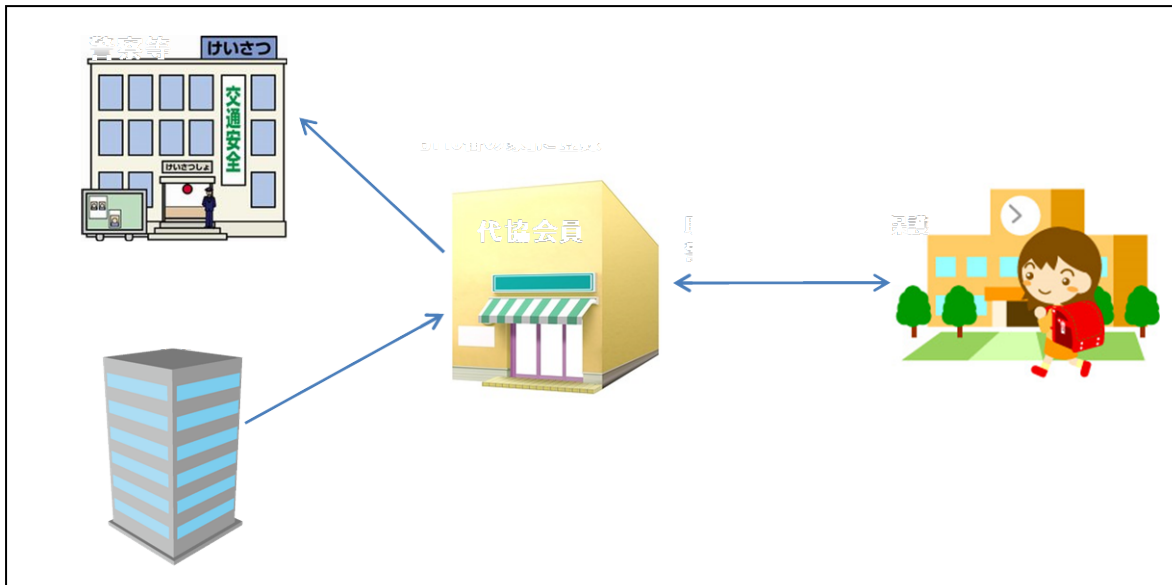
【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

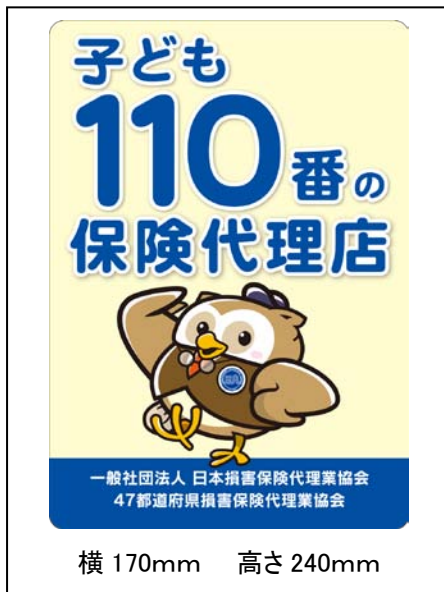
TEL:03-3201-2457 FAX:03-3201-4639

Eメール: daikyo@nihondaikyo.or.jp

【子ども110番の保険代理店の概念図】



【「子ども110番の保険代理店」ステッカー】



以上